

# 群馬県菅赤城西麓笠張土地改良事業計画書

( 農業用排水・区画整理 )

変更(第1回)

群馬県

# 目 次

第1章 目的	1	第2節 営農計画及び土地利用計画	18
第2章 地域及び地積	1	1. 営農計画の概要	18
第1節 地域	1	2. 土地利用区分	18
第2節 地積	1	3. 作付方式	19
第3章 現況	2	4. 生産計画	20
第1節 気象	2	5. 労働改善計画	21
1. 一般気象	2	6. 級地別土地利用区分	21
2. 特殊気象	3	7. 土地配分計画	21
第2節 土地状況	4	第3節 用水計画	22
1. 地形、土壌及び侵食の程度	4	1. 計画基準年	22
2. 土地分類	5	2. 計画かんがい方式	22
3. 土地利用の状況	5	3. 計画用水系統	22
4. 土地所有の状況	6	4. 計画用水量	22
第3節 水利状況	6	5. 水源計画	24
1. 用水状況	6	第4節 排水計画	26
2. 排水状況	7	1. 計画基準雨量	26
3. 河川状況	8	2. 計画排水方式	26
第4節 道路現況	9	3. 計画排水系統	26
1. 道路概況	9	4. 計画排水量	28
2. 主要道路一覧表	9	5. 排水対策	28
第5節 地域農業の概況	11	6. たん水検討	28
1. 産業別就業人口	11	第5節 道路計画	29
2. 経営農地広狭別農家数及び農地の分散状況	12	1. 道路及び索道	29
並びに専兼業別農家数	12	2. 路線配置図	30
3. 動力農機具及び主要家畜頭数	13	第6節 農用地造成計画	31
4. 主要作物作付状況	14	第7節 洪水調節計画	31
5. 農業の動向	15	第8節 干拓計画	31
第6節 地域環境の概況	16	第9節 農用地整備計画	31
第4章 一般計画	17	1. 区画整理	31
第1節 事業計画の要旨	17	2. 暗渠排水	32
1. 要旨	17	3. 客土	32
2. 事業別面積	17	4. 農地保全	32

第5章	主要工事計画	34	第3節	換地計画樹立の基本方針	39
第1節	用水施設	34	1.	従前の土地の地積の基準	39
1.	貯水池	34	2.	用途別予定地積	40
2.	頭首工	34	3.	農用地集団化の方針	41
3.	揚水機	34	4.	非農用地換地の方法	41
4.	用水路	34	5.	創設土地改良施設用地換地の方法	41
5.	その他かんがい施設	34	第4節	土地の評価及び清算の方法	42
第2節	排水施設	35	1.	評価の方法	42
1.	排水水門	35	2.	清算の方法	42
2.	排水機	35	第5節	換地計画樹立の年度計画	42
3.	排水路	35	第6節	換地処分の時期に関する特例	42
4.	その他排水施設	35	第10章	事業費の総額及び内訳	43
第3節	道路及び索道	36	第11章	効用	44
1.	道路	36	第12章	関連する事業	45
2.	索道	36	第13章	現況・計画図面	45
第4節	農用地造成	37	1.	現況平面図	
第5節	洪水調節施設	37	2.	計画平面図及び土地利用計画図	
第6節	干拓施設	37	3.	主要構造図	
第7節	農用地整備施設	37			
1.	区画整理	37			
2.	暗渠排水	37			
3.	客土	37			
4.	除礫	37			
5.	農地保全	37			
第6章	付帯工事計画	38			
第7章	工事の着手及び完了の予定時期	38			
第8章	環境との調和についての配慮	38			
第1節	環境との調和への配慮の方針	38			
第2節	環境との調和への配慮に伴う配慮内容	38			
第9章	換地計画の概要	39			
第1節	換地計画を作成する上での基本的な考え方	39			
第2節	換地区の設定	39			
1.	換地区の名称、所在、地積	39			
2.	換地区を設定しない理由	39			

## 第1章 目的

本地区は国営赤城西麓農業水利事業により導水された用水を各耕地まで配水する畑地かんがい施設を新設をするとともに、区画整理を実施し畑作営農の振興と農業経営の安定を図る事を目的とする。

なお、農業用排水事業と区画整理事業は、法に定める要件に適合するため一体事業として施行する。

## 第2章 地域及び地積

### 第1節 地域

(第1表)

事業名	地域
農業用用水	群馬県 渋川市 赤城町 長井小川田 地内
区画整理	〃

### 第2節 地積

(令和8年3月現在) (第2表)

事業名	現況地目	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
	市町村名							
農業用用水	渋川市	-	23.6	-	-	-	23.6	図側面積
区画整理	〃	-	23.6	-	-	7.4	31.0	〃
計			23.6			7.4	31.0	

### 第3章 現 況

本地域は、渋川市赤城町の北東に位置し、赤城山西麓に展開する畑作地帯で、溪流によって他地区と分断された台地であるが、国営農業水利事業及び広域農道により有機的に結合された農業地帯である。赤城山西麓の平均傾斜1/10（10°）標高440～540m前後の地形で、平均気温14.8、年間平均降水量1,311mmの中山間地帯である。

また、近隣には関越自動車道、赤城ICをはじめとした、交通網の整備により、生鮮野菜等の供給地として、交通の便に恵まれた地域である。

#### 第1節 気象

##### 1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	前橋地方気象台	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備 考
観測期間	S.60年～R.6年	6月～9月	10月～5月		
平均気温 ( )		24.1	10.1	14.8	
降水量	平均 (mm)	758.6 mm	552.2 mm	1310.8 mm	
	基準年 (mm)	430	450	880	(基準年昭和35年)
降水日数	平均 (日)	51 日	56 日	107 日	
	基準年 (日)	51 日	56 日	107 日	(基準年昭和35年)
根 雪 期 間		- 月 - 日 ~ - 月 - 日 ( - 日間)			
無 霜 期 間		4 月 1 日 ~ 11 月 15 日 ( 229 日間 )			昭和56年～平成22年 観測平年値
最 多 風 向		NNW	最大風速 (風向)	29.9m/s (NNW)	最大風速発生年月日 M33.9.28

## 2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位		備考
	数 量 (年月日)	発生 確率	数 量 (年月日)	発生 確率	数 量 (年月日)	発生 確率	数 量 (年月日)	発生 確率	数 量 (年月日)	発生 確率	
最大日雨量(mm)	357.4 S22.9.15	1/300	262.4 S30.8.6	1/220	233.5 R1.10.12	1/100	201.0 H11.8.14	1/40	180.0 S33.9.26	1/25	
最大時間雨量(mm)	114.5 H9.9.11	1/65	94.0 S30.8.6	1/25	82.0 S52.7.26	1/15	81.4 S37.8.28	1/14	81.4 S36.8.18	1/14	
最大連続雨量(mm)	392.5 S22.9.13 ～S22.9.15		338.9 M43.8.6 ～M43.8.11		311.5 S57.9.10 ～S57.9.12		262.4 S30.8.6 ～S30.8.7		200.4 S25.7.27 ～S25.7.30		
最大連続干天日数 (日)	63 S56.12.3 ～S57.2.3		39 S58.11.25 ～S59.1.2		29 S56.1.3 ～S56.1.31		27 S60.12.8 ～S61.1.3		26 S55.10.26 ～S55.11.20		

第2節 土地状況

1. 地形,土壌及び侵食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目	田						畑・その他						受益地標高(m)		備考
	傾斜区分	1/1000以下	1/1000~1/100	1/100~1/20	1/20~1/11.5	1/11.5以上	計	3°以下	3°~8°	8°~15°	15°~20°	20°以上	計	最高	最低	
農業用排水	面積(ha)	-	-	-	-	-	-	-	-	23.6	-	-	23.6	544	440	平均傾斜1/10
	比率(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	100	-	-	100			
区画整理	面積(ha)	-	-	-	-	-	-	-	-	31.0	-	-	31.0	544	440	平均傾斜1/10
	比率(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	100	-	-	100			
合計	面積(ha)	-	-	-	-	-	-	-	-	31.0	-	-	31.0	544	440	
	比率(%)	-	-	-	-	-	-	-	-	100	-	-	100			

(第4表-1-2)

項目 土壌統(区)名	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表										面 積(ha)			備考
	土 壤 断 面							堆積様式	母 材	農業用排水	区画整理	計		
	色	腐植	礫層	酸化沈殿物	土 性								泥炭層 黒泥層 グライ層	
					表土 一層	下層 二層	土 三層							
折原統	黒色	富む	なし	なし	砂壤土(SL)	埴壤土(SL)	なし	-	風積(火山性)	非固結火成岩	23.6	31.0	31.0	
計											23.6	31.0	31.0	

## 2. 土地分類

該当なし

## 3. 土地利用の状況

(令和8年3月現在)

(第4表-3)

事業名	土地 利用別 市町村別	農 地						山 林		採 草 放牧地 (ha)	原 野 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
		水 田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	桑 畑 (ha)	その他 樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
農業用排水	渋川市	-	22.2	-	1.4	-	-	-	-	-	-	-	23.6	
区画整理	〃	-	22.2	-	1.4	-	-	-	-	-	-	7.4	31.0	
合計		-	22.2	-	1.4	-	-	0.0	-	-	-	7.4	31.0	

4. 土地所有の状況

(令和8年3月現在)

(第4表-4)

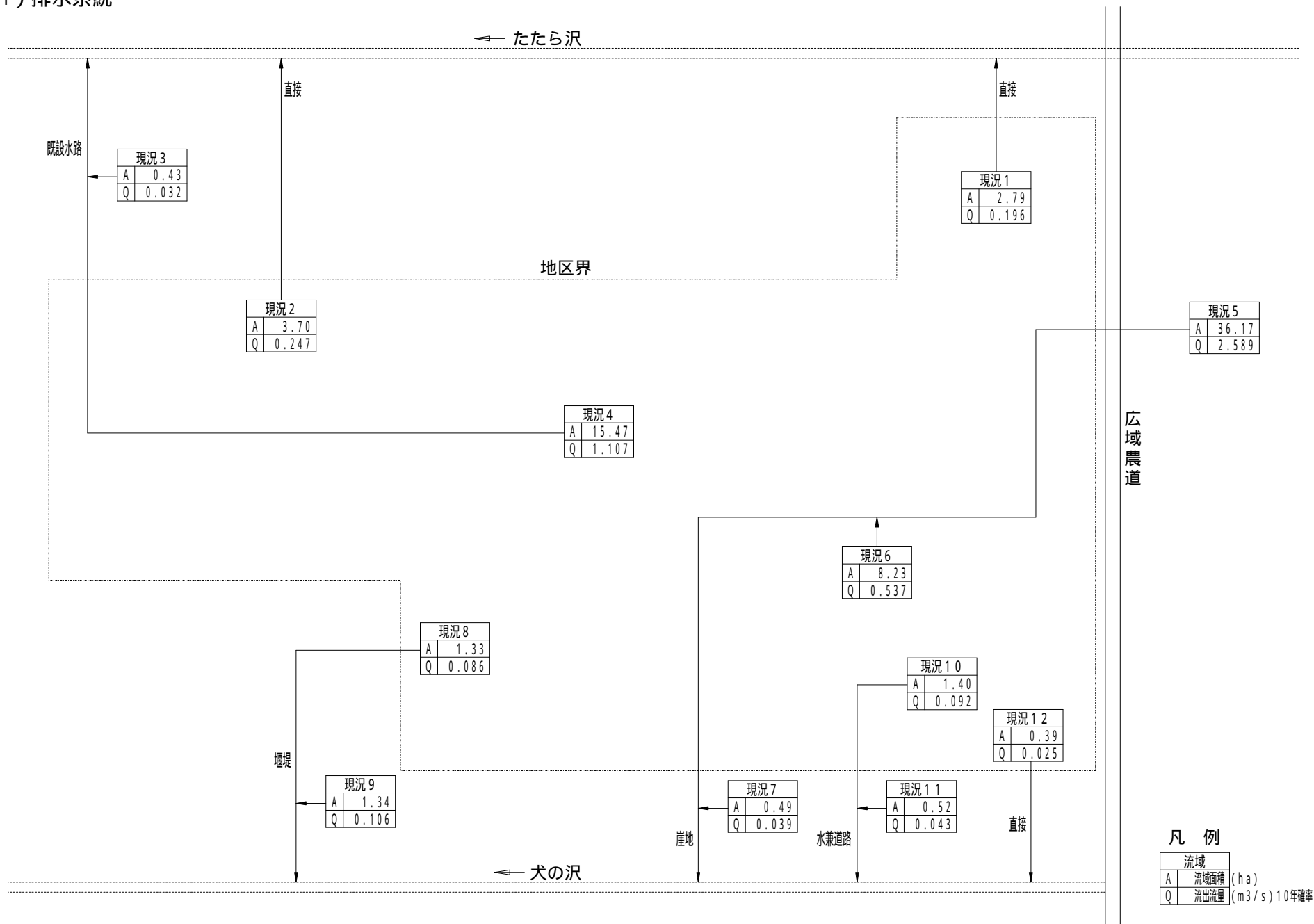
事業名	所有者	個人有	市町村有	県有	国有		計	備考
	区分							
農業用排水	面積(ha)	23.6	-	-	-		23.6	
	関係戸数(戸)	67	-	-	-		67	
	筆数(筆)	248	-	-	-		248	
	権利関係	所有権					-	
	備考							
区画整理	面積(ha)	31.0	-	-	-		31.0	
	関係戸数(戸)	67	-	-	-		67	
	筆数(筆)	248	166	-	-		414	
	権利関係	所有権					-	
	備考							
合計	面積(ha)	31.0	-	-	-		31.0	
	関係戸数(戸)	67	-	-	-		67	
	筆数(筆)	248	166	-	-		414	
	権利関係	所有権					-	
	備考							

第3節 水利状況

1. 用水状況

該当なし

2. 排水状況  
 (1) 排水系統



(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

施設名		排水面積								排水慣行 (m <sup>3</sup> /s)	現況排水能力 (m <sup>3</sup> /s)	備考
		500ha以上		500ha ~ 100ha		100ha以下		計				
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha			
自然	排水路					2	72.26	2	72.26	-	-	
	水門											
機械	排水機											
	水門及び排水機											
	排水路及び排水機											
合計						2	72.26	2	72.26	-	-	

(イ) 改修を要する施設の一覧表 (該当なし)

(3) 排水に関する被害状況 該当なし

3. 河川状況

(1) 河川の現況 該当なし

第4節 道路現況

1. 道路概況

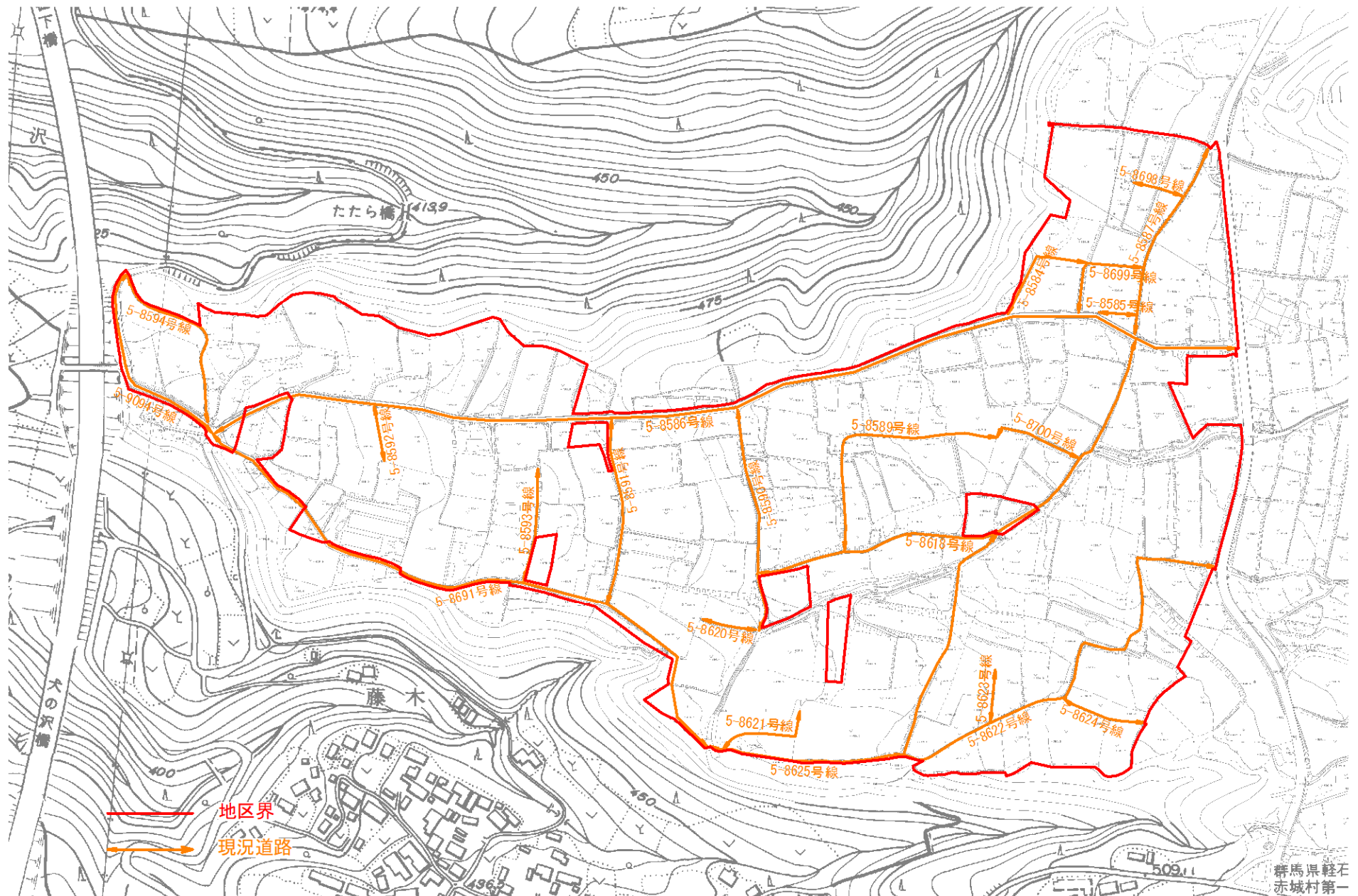
別紙現況道路模式図のとおり

2. 主要道路一覧表

(第6表)

No	路線名			管理区分別	延長(m)	幅員(m)		構造	改修の要否	備考
						全幅	有効			
R-1	市道	5-	8584	渋川市	106	2.0	1.5	G	要	一部現道なし
R-2	"	5-	8585	"	35	-	-	-	"	現道なし
R-3	"	5-	8586	"	985	5.0	4.0	As	一部要	
R-4	"	5-	8587	"	188	2.0	1.5	G	要	
R-5	"	5-	8589	"	248	1.8	1.3	G	"	一部現道なし
R-6	"	5-	8590	"	215	3.0	2.5	As	"	
R-7	"	5-	8591	"	175	3.0	2.5	As	"	
R-8	"	5-	8592	"	52	-	-	-	"	現道なし
R-9	"	5-	8593	"	105	2.0	1.5	G	"	一部現道なし
R-1	"	5-	8594	"	177	2.0	1.5	As,G	"	
R-2	"	5-	8618	"	460	2.5	2.0	As,G	"	
R-3	"	5-	8620	"	51	1.8	1.3	G	"	
R-4	"	5-	8621	"	97	-	-	-	"	現道なし
R-5	"	5-	8622	"	652	2.0	1.5	As,G	"	一部現道なし
R-6	"	5-	8623	"	48	2.0	1.5	G	"	
R-7	"	5-	8624	"	80	2.0	1.5	G	"	
R-8	"	5-	8625	"	182	1.8	1.3	G	"	一部現道なし
R-9	"	5-	8691	"	601	5.0	4.0	As,G	一部要	
R-10	"	5-	8698	"	48	2.0	1.5	G	要	
R-11	"	5-	8699	"	100	2.5	2.0	G	"	一部現道なし
R-12	"	5-	8700	"	87	2.3	1.8	G	"	一部現道なし
R-13	"	5-	9094	"	203	3.5	3.0	As	一部要	

(3) 現況道路概略図



## 第5節 地域農業の概況

本地区の農業は大半は山地で、高台に分散する小規模の農地は、コンニャクを主体として果樹・野菜などの農業経営が行われているが、近年の輸入自由化による基幹作物のコンニャクは価格低迷であり、農業就業者も減少・高齢化し、後継者不足などから耕作放棄地の増加が続いている。

今後の開発としては、安全・安心な農産物を安定的に供給できる生産性の高い地域農業を推進するため、パイプラインによるかんがい事業を併せた区画整理事業を実施して高収益農作物であるレタス・キャベツ・ホウレンソウ、トマト等の力強い産地育成を図る。

(令和8年3月現在)

### 1. 産業別就業人口

(資料：R2年国勢調査資料)

(第7表-1)

項目 市町村名	総数 (人)	農業 (人)	林業 (人)	漁業 (人)	鉱業 (人)	建設業 (人)	製造業 (人)	電気 ガス 熱供給 水道業 (人)	運輸通 信業 (人)	卸売 小売業 飲食店 (人)	金融 保険業 (人)	不動産 業 (人)	サービ ス業 (人)	公務 (人)	その他 (人)	備 考
渋川市	38,577	2,153	78	8	21	4,030	6,756	282	1,761	5,476	700	485	7,816	1,256	7,755	(令和8年3月現在)
計	38,577	2,153	78	8	21	4,030	6,756	282	1,761	5,476	700	485	7,816	1,256	7,755	
比率(%)	100.0	5.6	0.2	0.0	0.1	10.4	17.5	0.7	4.6	14.2	1.8	1.3	20.3	3.3	20.1	

2. 経営農地広狭別農家数及び農地の分散状況並びに専兼業別農家数

(令和8年3月現在)

(資料：2020センサス)

(第7表-2-1)

区分 市町村名	農家 総戸数 (戸)	経営農地広狭別農家数 (戸)										
		0.3 ha 未満	0.3 ~ 0.5	0.5 ~ 1.0	1.0 ~ 1.5	1.5 ~ 2.0	2.0 ~ 3.0	3.0 ~ 5.0	5.0 ~ 10.0	10.0 ~ 20.0	20.0 ha 以上	例外規定 の適用を 受けるもの
浜川市	1,117	37	227	377	150	78	76	55	53	20	5	39
計	1,117	37	227	377	150	78	76	55	53	20	5	39
比率(%)	100.0	3.3	20.3	33.8	13.4	7.0	6.8	4.9	4.7	1.8	0.4	3.5

(資料：2020センサス) (第7表-2-2)

区分 市町村名	1戸当たり平均農用地面積 (ha)						農用地の分散状況		専兼業別農家数 (戸)			備 考
	田	畑	樹園地	小 計	草 地	計	1戸当たり 団地数	団地当 り面積 (ha)	専 業	兼 業		
										第 一 種	第 二 種	
浜川市	0.30	1.39	0.06	1.75	-	1.75			273	113	683	
計(平均)	0.30	1.39	0.06	1.75	-	1.75			273	113	683	
比率(%)	17.1%	79.4%	3.4%	100%								

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(令和8年3月現在)

(資料：2015センサス)

(第7表-3)

項目 市町村名	動力農機具								主要家畜						備考
	動力耕運機 乗用トラクター		田植機		動力防除機		自脱型コンバイン		乳用牛		肉用牛		豚		
	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	
浜川市	1,400	1,036	470	450	-	-	291	267	1,216	32	3,327	49	82,378	28	農家戸数 1873戸
計	1,400	1,036	470	450			291	267	1,216	32	3,327	49	82,378	28	
100戸当たり 数量(台,頭)	75		25				16		65		178		4,398		
利用戸数 割合(%)	55.3%		24.0%				14.3%		1.7%		2.6%		1.5%		

資料：2020農林業センサスに記載がないため2015農林業センサスを参照

4. 主要作物作付状況

(令和8年3月現在)

(資料：農林水産統計年報)

(第7表-4)

市町村名			渋川市				計		平均	作付率 (%)	備 考	
総農用地面積(ha)			3,590				3,590					
総本地面積(ha)			2,947				2,947					
作物名	区分		作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)		
	田	表作	水稻・他	385	499					385	499	10.7
裏作		麦類・他	80	359					80	359	2.2	(小麦)
小計			465	/	/	/	/	465	/	13.0		
畑	春夏作	葉菜類	-	-					-	-	-	
				/	/	/	/					
	秋冬作	葉菜類	139	1,320					139	1,320	3.9	(ほうれんそう)
小計			139					139	/	3.9		
樹園地	果 樹		-	-					-	-	-	
	桑・飼肥料作物等		-	-					-	-	-	
計			604	/	/	/	/	604	/	17.0		
市町村別延べ作付率(%)												

5. 農業の動向

渋川市

(令和8年3月現在)

(第7表-5)

項目 区分	農 家			土 地			主要作物			家 畜			動力農機具			備 考
	C	B	A	C	B	A	作物名 C	B	A	家畜名 C	B	A	農機具名 C	B	A	
変化の 状 況  C年を 100 とする 指 数	総農家数	81	63	耕地	91	83	工芸作物	95	88	乳用牛	70	67	トラクター	84	0	A：令和2年 (2020年農業センサス)  B：平成27年 (2015年農業センサス)  C：平成22年 (2010年農業センサス)
	専業農家数	99	51	田	84	65	果樹類	85	71	肉用牛	62	0	田植機	76	0	
	一種兼農家数	57	38	畑	93	91	野菜類	83	115	豚	93	110	コバイン	82	0	
	二種兼農家数	77	80	樹園地	87	57	芋類	140	100				動力防除機	-	-	
	農業従事者数	73	42													
変化の理由	都市化による他産業への労働力の流動			都市化による開発、水田面積の減少			畑作物の振興と営農改善			営農改善			労力の減少に伴う機械化省力営農の定着			
地域指定等				農振法 酪農肉用牛生産近代化計画 農業生産総合振興計画 果樹広域濃密生産団地(ワカソコ)			S.46.10.8 H.13.9 H.9.3.7 H8.5									

A：2020年農業センサス

B：2015年農業センサス

C：2000年農業センサス

## 第6節 地域環境の概況

本地区は渋川市赤城町の北部、利根川の東に位置する、赤城山西麓の標高440m～544m前後に広がる平均傾斜1/10で、地区北側のたたら沢、南側の犬の沢に挟まれた畑作地域である。

地区周辺はヤマハンノキ、ダケカンバ、シラカバ、ニズナラ等の潤葉樹林に覆われており、多くの自然が残されている。

動物ではニホンカモシカ・ニホンジカ・イノシシ・クマ、オオルリ・ヒガラ等、ほ乳類、鳥類併せて約90種類棲息している。

## 第4章 一般計画

### 第1節 事業計画の要旨

#### 1. 要旨

本計画は、畑地かんがいのための農業用排水施設と灌水を効率的に行うための区画整理を一体的に行うものである。農業用排水施設は国営赤城西麓農業水利事業で建設された幹線水路を水源とし、長井小川田F Pより分水された6号支線を介して末端ほ場への支線（100～200mmパイプライン）を新設する。

区画整理は、標準区を30aとし、かん水効率を高めると共に、土壌流亡対策として畑勾配の修正、道排水路網の整備を行い、機械化農業への推進及び農業経営の合理化を図る。

#### 2. 事業別面積

(第8表)

事業名 土地利用 区分 事業目的	農業用排水					区画整理					計 (ha)	備考
	水田 (ha)	普通畑 (ha)	樹園地 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	樹園地 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)		
農業用排水		22.2	1.4		23.6						23.6	図測面積
区画整理							22.2	1.4	7.4	31.0	31.0	〃
計		22.2	1.4		23.6		22.2	1.4	7.4	31.0	31.0	

## 第2節 営農計画及び土地利用計画

### 1. 営農計画の概要

本地区の営農計画は、畑地帯では、野菜・こんにゃくを中心とした営農を、樹園地では一部を残し他は野菜類を中心とした営農を指向する。営農改善の方向としては、樹園地については畑転換を行い野菜類の作付け拡大を目指す。畑・樹園地ともに区画の整形化及び農道の整備を図ることにより、大型機械作業体系の確立を図るとともに生産性の向上と畑作経営の改善を図るものである。

### 2. 土地利用区分

(第9表-1)

項目	区分		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	桑園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
	現況	計画												
農業 用排水	現況		-	24.7	-	2.2	-	-	26.9	-	-	-	26.9	
	計画		-	22.2	-	1.4	-	-	23.6	-	-	-	23.6	
区画 整理	現況		-	24.7	-	2.2	-	-	26.9	-	-	4.1	31.0	
	計画		-	22.2	-	1.4	-	-	23.6	-	-	7.4	31.0	
計	現況		-	24.7	-	2.2	-	-	26.9	-	-	4.1	31.0	
	計画		-	22.2	-	1.4	-	-	23.6	-	-	7.4	31.0	

3. 作付方式

(第9表-2)

事業名	項目	経営類型	土地利用区分	1年目												2年目												備考
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
				農業用排水・区画整理	現況	普通畑	畑	コンニャク												コンニャク								
キャベツ								キャベツ						キャベツ						キャベツ								
レタス								レタス				レタス				レタス				レタス				レタス				
コマツナ			コマツナ					コマツナ			コマツナ			コマツナ			コマツナ			コマツナ			コマツナ					
ウド			ウド						ウド			ウド						ウド										
ネギ												ネギ																
トウモロコシ						トウモロコシ						トウモロコシ						トウモロコシ										
ソバ						ソバ						ソバ						ソバ										
飼料作物						飼料作物						飼料作物						飼料作物										
エダマメ						エダマメ						エダマメ						エダマメ										
ホウレンソウ												ホウレンソウ																
果樹園		樹園地		リンゴ																								
計画	普通畑	畑	コンニャク												コンニャク													
			キャベツ						キャベツ						キャベツ						キャベツ							
			レタス				レタス				レタス				レタス				レタス				レタス					
			コマツナ			コマツナ			コマツナ			コマツナ			コマツナ			コマツナ			コマツナ							
			ウド			ウド						ウド			ウド						ウド							
ネギ												ネギ																
トマト(施設)						トマト(施設)						トマト(施設)						トマト(施設)										
エダマメ						エダマメ						エダマメ						エダマメ										
ホウレンソウ			ホウレンソウ			ホウレンソウ			ホウレンソウ			ホウレンソウ			ホウレンソウ			ホウレンソウ			ホウレンソウ							
果樹園		樹園地		リンゴ																								

4. 生産計画

(第9表-3)

事業名	項目 土地利用区分	作物名	作付面積 (ha)		作付率 (%)		単位面積当たり 収量 (kg/10a)		生産量 (t)			同左生産量増減の内訳 (t)		備考	
			現況	計画	現況	計画	現況	計画	現況	計画	増減	面積増減	単位面積 当たり 収量増減		
農業用排水・区画整理	普通畑	こんにゃく	10.8	2.0	44.1	9.5	1,629	1,629	175.9	32.6	143.4	143.4			
		キャベツ	0.8	5.5	3.3	26.2	6,600	7,458	52.8	410.2	350.5	350.5			
		レタス	0.4	3.0	1.6	14.3	4,060	4,588	16.2	137.6	119.3	119.3			
		こまつな	0.3	0.6	1.2	2.9	1,254	1,417	3.8	8.5	4.3	4.3			
		うど	2.7	3.4	11.0	16.2	1,411	1,594	38.1	54.2	11.2	11.2			
		ねぎ	1.5	0.5	6.1	2.4	1,976	2,233	29.6	11.2	22.3	22.3			
		どうもろこし	0.3	-	1.2	-	1,037	1,193	3.1	-	3.6	3.6			
		トマト(施設)	-	2.0	-	9.5	6,152	7,075	-	141.5	141.5	141.5			
		そば	0.3	-	1.2	-	82	82	0.2	-	0.2	0.2			
		飼料作物	1.0	-	4.1	-	5,127	6,152	51.3	-	61.5	61.5			
		えだまめ	1.0	0.5	4.1	2.4	645	742	6.5	3.7	3.7	3.7			
		ほうれんそう	0.6	3.5	2.4	16.7	1,105	1,249	6.6	43.7	36.2	36.2			
										-	-	-	-		
		計	19.7	21.0	80.4	100.0			384.1	843.2	428.3	428.3			
	裏作	キャベツ	-	5.5	-	26.2	6,600	7,458	-	410.2	410.2	410.2			
		レタス	-	6.0	-	28.6	4,060	4,588	-	275.3	275.3	275.3			
		こまつな	-	1.2	-	5.7	1,254	1,417	-	17.0	17.0	17.0			
		ほうれんそう	-	10.5	-	50.0	1,105	1,249	-	131.1	131.1	131.1			
		計	-	23.2	-	110.5			-	833.6	833.6	833.6			
	樹園地	表作	りんご	2.2	1.4	9.0	6.7	1,714	1,971	37.7	27.6	15.8	15.8		
計			2.2	1.4	9.0	6.7			37.7	27.6	15.8	15.8			
合計		21.9	45.6	89.4	217.1	-	-	421.8	1,704.4	1,246.1	1,246.1				

5. 労働改善計画

(第9表-4)

土地利用区分	項目 作物名	作付面積(ha)	単位面積当たり労働投下量(hr/ha)				備考
			区分	現況	計画	増減	
畑	キャベツ、レタス、うど、ねぎ	23.9	人 力	897.34	480.40	416.9	15a区画 30a区画  大型機械化体系
			機 械 力	287.34	101.04	186.3	
	ほうれんそう、こまつな	15.8	人 力	725.35	314.03	411.3	
			機 械 力	365.35	54.10	311.3	
	トマト、えだまめ	2.5	人 力	698.84	297.11	401.7	
			機 械 力	358.84	41.71	317.1	
	計	42.2					

6. 級地別土地利用区分 [該当無し]

7. 土地配分計画 [該当無し]

### 第3節 用水計画

#### 1. 計画基準年

昭和35年 上位事業の国営赤城西麓農業水利事業の計画基準年を採用した。

#### 2. 計画かんがい方式

地表定置式散水かんがい、給水スタンド利用

#### 3. 計画用水系統

別紙添付模式図の通り

#### 4. 計画用水量

##### (1) かんがい用水

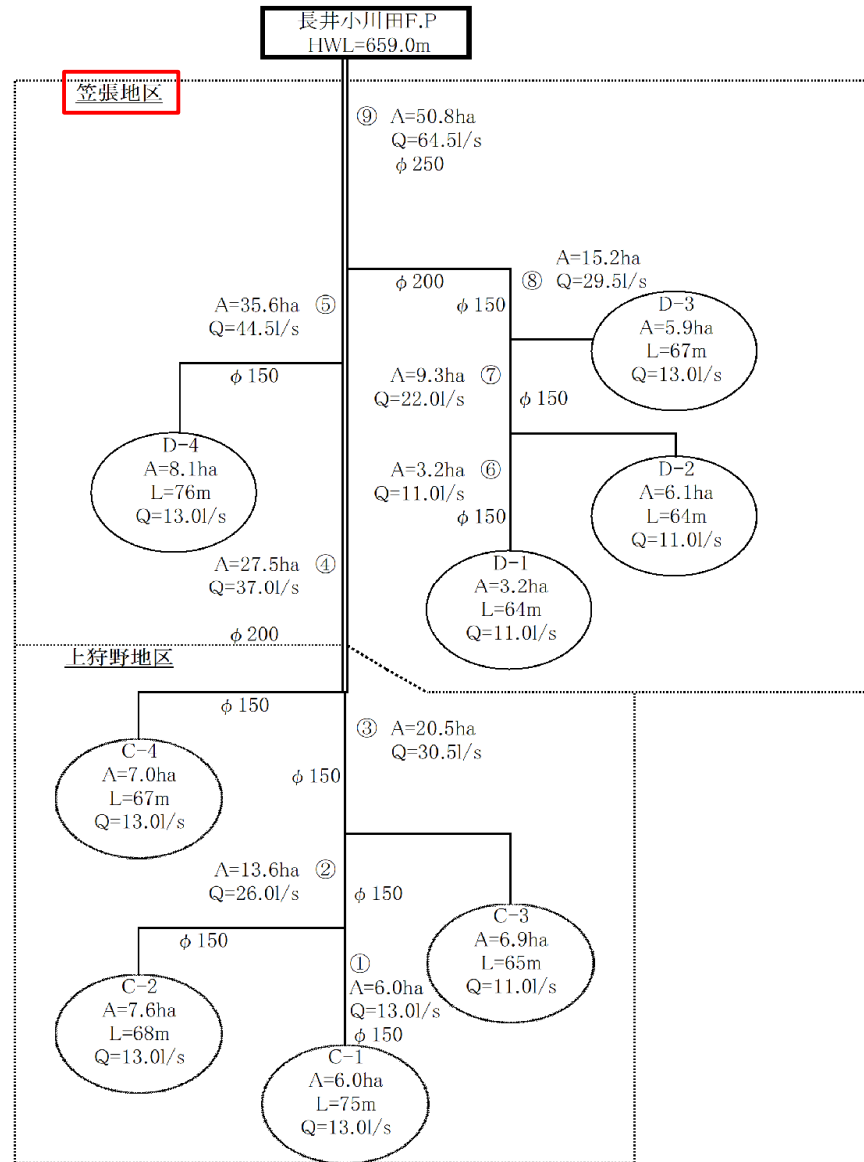
(第10表-1-1)

項目	種別	面積 (ha)			水田かんがい		畑地かんがい			消費水量 (m <sup>3</sup> /s)	損失率 (%)	粗用水量		備考	
		事業名			普通期	代掻き期	面積	一日当たり 計画平均 かん水深 (mm/日)	平均間断 日数 (日)			面積 (ha)	平均		最大
		農業 用水量	区画 整理	計	計画平均 単位用水 量 (mm/日)	計画代掻 き期単位 用水量 (mm/日)									
系統名 国営 6号支線	農業用水	23.6		23.6				4.5	6	23.6	0.0165	25	0.015	0.022	

国営赤城西麓事業第2回変更計画書 P 57

##### (2) 営農飲雑用水 [該当無し]

計画用水系等模式図



5. 水源計画 有効雨量 5mm/日以上の80%で上限はTRAMまで

損失率 国営幹線水路 5%、末端水路 5%、散水口ス 15% 計25%

(1) 水利用計画

(第10表-2-1)

項目	消費 水量 (千m3) a	有効 雨量 (千m3) b	準用 水量 (千m3) c=a-b	粗用 水量 (千m3) d=c/(1- )	現況利用可水量			不足水量		水源依存量		水源 工種	備考
					水源名	取水地 点利用 可能量 (千m3) e	ほ場 可能 利用量 (千m3) f	純不足 水量 (千m3) g=c-f	全不足 水量 (千m3) h=d-e	水源名	水量 (千m3)		
畑地かんがい	140.9	30.9	110.0	146.7	-	-	-	110.0	146.7	根利川 国営 6号支線	146.7	頭首工	損失率 =25%

国営赤城西麓事業第2回変更資料 P57

(第10表-2-2-2)

区分	畑地かんがい				備 考
	現況 (m3/s)		計画 (m3/s)		
	6月~9月	10月~5月	6月~9月	10月~5月	
純用水量	-	-	0.0165	0.0110	( )内数
有効雨量	-	-	0.0050	0.0030	
損失水量	-	-	0.0050	0.0037	
全用水量	-	-	0.0220	0.0150	
利用 可能 量	根利川		0.0220	0.0150	
	赤城川		(0.0003)		
計			0.0220	0.0150	
不足量			0	0	

国営赤城西麓事業第2回変更資料

(2) 用水対策

(ア) 貯水池 [ 該当無し ]

(イ) 井堰及び自然取入口 [ 該当無し ]

(ウ) 揚水機 [ 該当無し ]

(I) 用水路

(第10表-6)

名称	項目	かんがい面 (ha)			最大通水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長 (m)	構 造	備 考
		事業名						
		農業用 用水	区画 整理	計				
国営6号分水工		(170)	-	(170)	(0.116)	(525)	DCIP 400	国営施行済み
配水管		23.6	-	23.6	0.045	5,496	VU,VP 100 ~ 150	県営施行(延長は導水管除く)
計		23.6	-	23.6		5,496		

(オ) その他の水源施設

(第10表-7)

施設名	構造	数量	備考
減圧水槽	道路埋設型水槽	5基	
散水施設	スプリンクラー、散水チューブ 給水スタンド	4ローテーション	

(3) 水温水質

時期別	かんがい面積 (ha)	水温 ( )		水質	被害量	備考
		最高	最低			
6月~9月	23.6	18.5	14.1	ph7.5		
10月~5月		10.7	8.8	ph7.5		

## 第4節 排水計画

### 1. 計画基準雨量

群馬県農政部確率雨量計算システムより(北緯 $36^{\circ}34'00''$  ~  $36^{\circ}34'30''$ 、東経 $139^{\circ}04'30''$  ~  $139^{\circ}05'15''$ )  
1/10年確率雨量を適用

(1) 1時間確率雨量  $54.4 \text{ mm}$  (短時間降雨強度式・・・ $4561.1 / (T+23.9)$ )

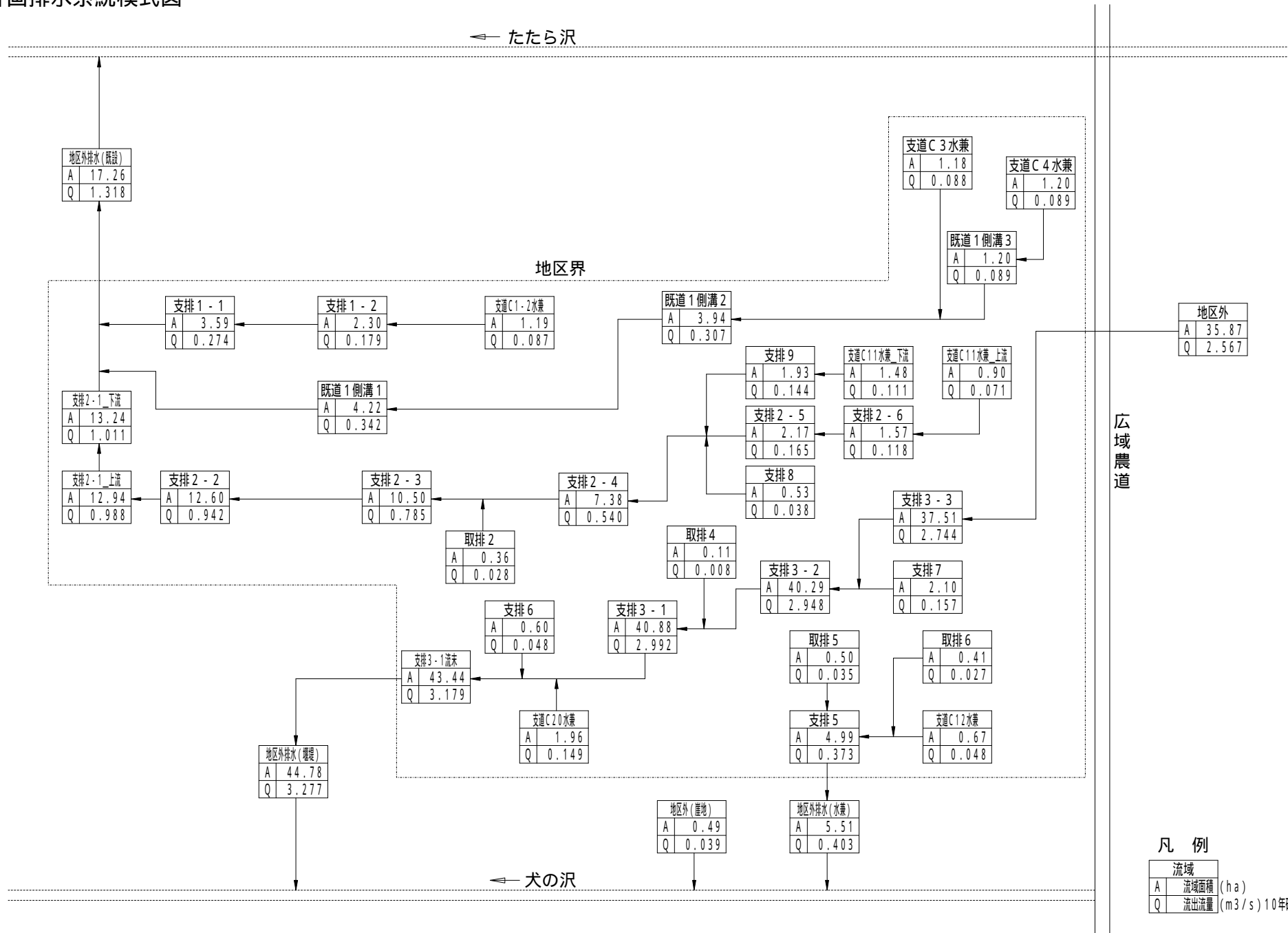
### 2. 計画排水方式

排水方式・・・・・・自然排水  
新設する排水路及び水路兼道路を経て、現況排水流末に導水する。

### 3. 計画排水系統

別紙添付の計画排水系統模式図のとおり

# 計画排水系統模式図



凡例

流域	
A	流域面積 (ha)
Q	流出流量 (m <sup>3</sup> /s) 10年確率

## 4. 計画排水量

(第11表-1)

項目 排水系統名	受益面積 (ha)		流域面積 (ha)	基準雨量 (mm/h)	降雨による直接 単位流出量 (m <sup>3</sup> /s/km <sup>2</sup> )	基底出量 (m <sup>3</sup> /s/km <sup>2</sup> )	全排出量 (m <sup>3</sup> /s)		単位排水量 (m <sup>3</sup> /s/km <sup>2</sup> )	備考
	事業名						自然排水	機械排水		
	農業用 排水	区画整理								
全体	23.6	23.6	72.26	54.4	6.971	-	5.037	-	6.971	
計	23.6	23.6	72.26	54.4	6.971	-	5.037	-	6.971	

## 5. 排水対策

(1) 排水水門 該当なし

(2) 排水機 該当なし

## (3) 排水路

(第11表-4)

項目 名称	流域面積 (ha)	受益面積 (ha)		計画排水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長 (m)	構造	排水本川			備考
		事業名					名称	計画洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	計画洪水位 (m)	
		農業用 排水	区画整理							
支線排水路	72.3	23.6	23.6	5.037	5,097	U字溝 RDU303 ~ 1010 UA300 ~ 500	利根川			
計	72.3	23.6	23.6	5.037	5,097					

## 6. たん水検討 該当なし

第5節 道路計画

1. 道路及び索道

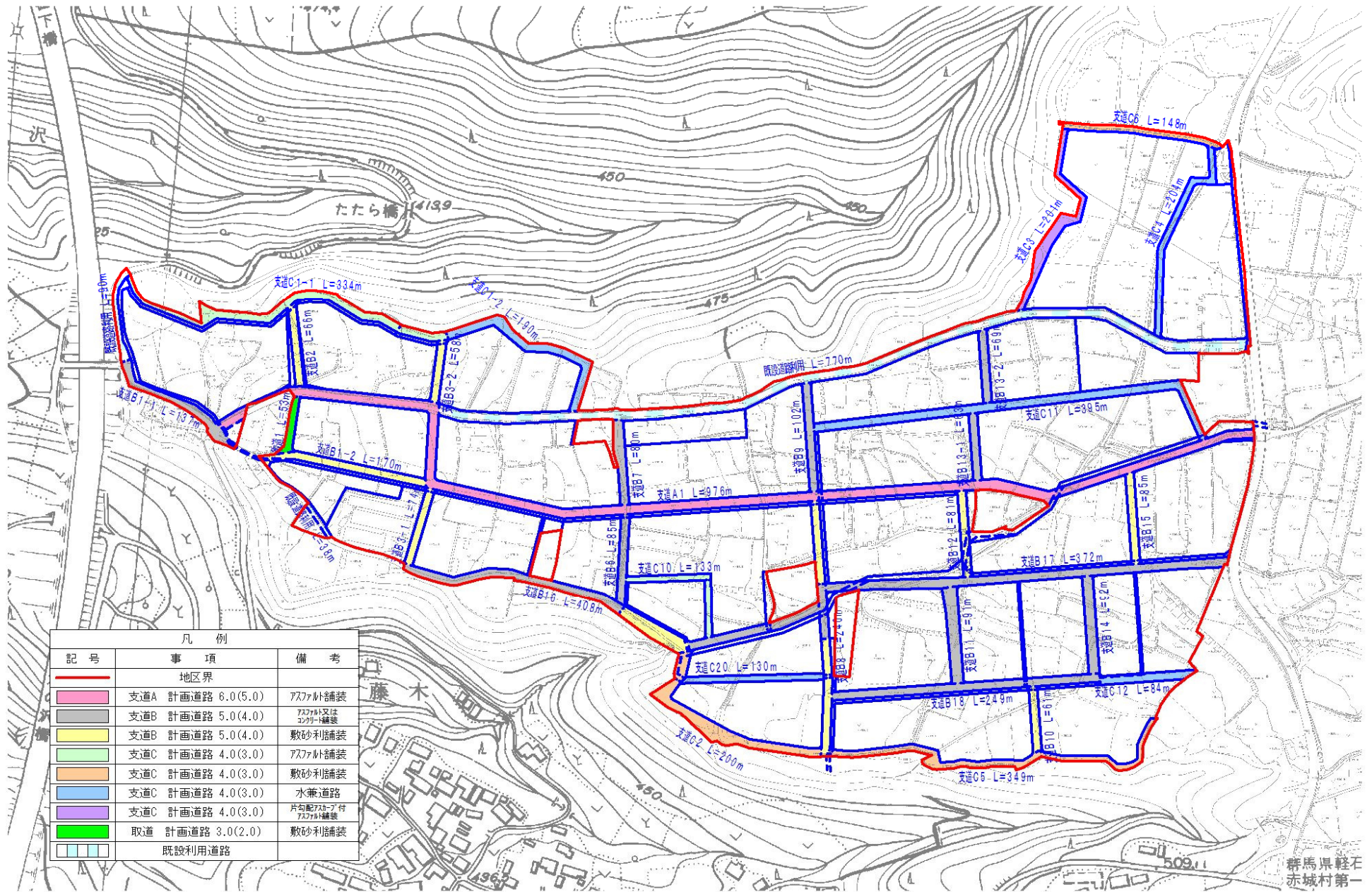
(1) 道路

(第12表-1)

路線名 \ 項目	幅(有効) (m) × 延長 (m)	構造	既設道路との関係	備考
支線道路 A	6.0(5.0) × 976	アスファルト舗装		
支線道路 B	5.5(4.5) × 1,409	アスファルト舗装		
支線道路 B	5.5(4.5) × 1,252	敷砂利		
支線道路 C	4.0(3.0) × 668	アスファルト舗装		
支線道路 C	4.0(3.0) × 1,375	水路兼用道路		
支線道路 C	4.0(3.0) × 697	敷砂利		
取付道路	3.0(2.0) × 53	敷砂利		
(既設道路利用)	- × 898	アスファルト舗装		
計	7,328			

(2) 索道 該当なし

# 計画道路網図



第6節 農用地造成計画

該当なし

第7節 洪水調節計画

該当なし

第8節 干拓計画

該当なし

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状

(第16表-1)

長 辺 × 短 辺 (m)	区 画 面 積 (ha)	全 体 面 積 (ha)	割 合 (%)	田 面 差 (m)	備 考
75 × 40	31.0	31.0	100%	-	
計	31.0	31.0	100%		

(2) 表土扱い

(第16表-2)

面積 (ha)	表土扱いの要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m <sup>3</sup> )	備考
22.2	良質耕作土の確保	25	55,500	

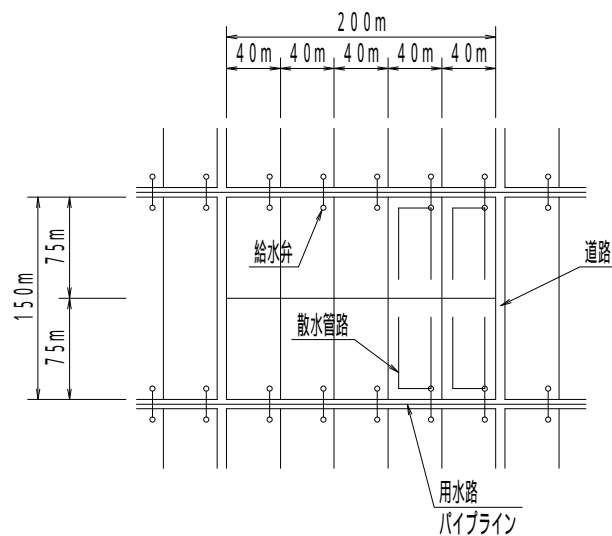
(3) 末端道水路配置図

別紙添付配置図のとおり。

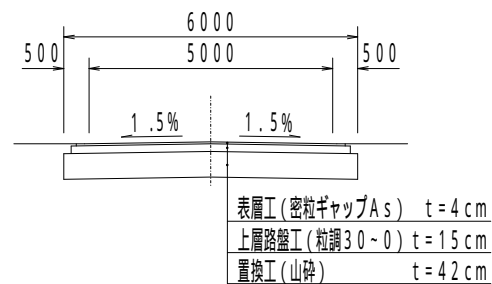
2. 暗渠排水  
該当なし
3. 客土  
該当なし
4. 農地保全  
該当なし

# 計画標準図

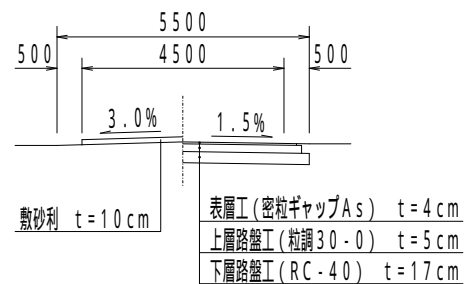
## 標準区画割図



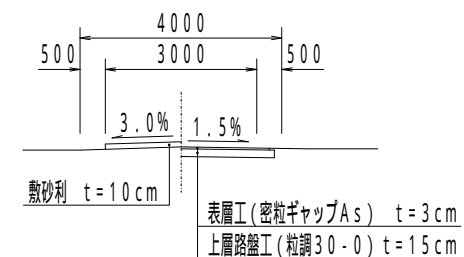
## 支線道路 A



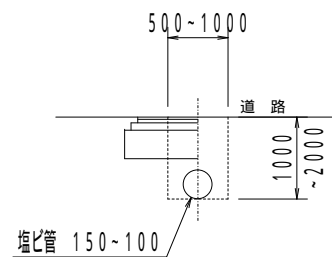
## 支線道路 B



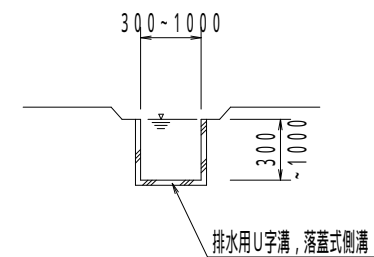
## 支線道路 C



## 用水路工



## 支線排水路



## 第5章 主要工事計画

### 第1節 用水施設

1. 貯水池 〔該当無し〕

2. 頭首工 〔該当無し〕

3. 揚水機場 〔該当無し〕

#### 4. 用水路

(第17表-4)

水路名	受益面積(ha)			通水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長 (m)			構造	勾配 (%)	主要 構造物	備考
	事業名				開渠	トンネル その他	計				
	農業用 用排水	区画 整理	計								
配水管	23.6		23.6	0.011 ~ 0.045		5,496	5,496	VU, VP 100 ~ 150	1/36 ~ 1/357	減圧水槽 5基	県営施工 (延長は導 水管除く)
計	23.6		23.6			5,496	5,496				

#### 5. その他のかんがい施設

(第17表-5)

施設名	構造	規模	数量	備考
減圧水槽	道路埋設型水槽	150 ~ 200mm	5基	
散水施設	スプリンクラー 散水チューブ 給水スタンド	2.45, 2.80kg/cm <sup>2</sup> 50mm 50mm	4ローテーション	

第2節 排水施設

1. 排水水門

該当なし

2. 排水機

該当なし

3. 排水路

(第18表-3)

水路名	受益面積(ha)			排水量 (m <sup>3</sup> /s)	延 長 (m)			構 造	勾 配	主要構造物	備 考
	事 業 名				開渠	ト 裨 の 他	計				
	農業用 用排水	区画 整理	計								
支線排水路	23.6	23.6	23.6	5.037	5,097		5,097	RDU303～1010 UA300～500	1/8～ 1/130	継手水槽 J-60～J-140	
計	23.6	23.6	23.6	5.037	5,097		5,097				

4. その他排水施設

該当なし

第3節 道路および索道

1. 道路

(1) 道路の総括表

(第19表-1)

項目 区分	路線名	幅 × 延長 (有効 m) (m)	構造	附 帯 構 造 物			最急 こう配 (%)	同左の 延長 (m)	最小曲 線半 径 (m)	備 考
				名称	構造	数量 (箇所)				
支線道路	支線道路 A	6.0(5.0) × 976	アスファルト舗装 表層4cm, 上層15cm, 置換工42cm				13.0	43	-	
	支線道路 B	5.5(4.5) × 2,661	アスファルト舗装 表層4cm, 上層5cm, 下層17cm 砂利舗装 敷砂利10cm				15	48	-	
	支線道路 C	4.0(3.0) × 2,997	アスファルト舗装 表層3cm, 上層15cm 砂利舗装 敷砂利10cm	水兼 側壁	H=100 B=300	-	11.9	45	-	水兼道路 含む
	取付道路	3.0(2.0) × 2,740	砂利舗装 敷砂利10cm				2.6	53	-	
	既設道路利用	- × 898	既設アスファルト舗装							
計		7,328								

(2) 道路主要構造物

該当なし

2. 索道

該当なし

第4節 農用地造成 該当なし

第5節 洪水調節施設 該当なし

第6節 干拓施設 該当なし

第7節 農用地整備施設

1. 区画整理

(第23表-1)

区 分	全体面積 (ha)	整 地 工		表 土 扱 い		備 考
		標準区画 (ha)	土 量 (m3)	面 積 (ha)	土 量 (m3)	
畑	23.6	75m × 40m	302,000	22.2	55,500	
計	23.6		302,000	22.2	55,500	

2. 暗渠排水 該当なし

3. 客土 該当なし

4. 除礫 該当なし

5. 農地保全 該当なし

## 第6章 付帯工事計画

該当なし

## 第7章 工事の着手及び完了の予定時期

着手	令和元年度
完了	令和9年度

## 第8章 環境との調和についての配慮

### 第1節 環境との調和への配慮の方針

本地区は、自然と調和を図るため、生態系に配慮した畑整地を行うとともに、多種多様な生物が生息可能な空間の維持・回復を目的とした環境整備を行う。

### 第2節 環境との調和への配慮に伴う配慮内容

本地区では、下記の通り生態系に配慮した整備を行う。

施設の種類	整備内容及び規模	備考
1.生態系ネットワーク	田園環境整備マスタープランに基づく自然環境保全地域に位置するため、絶滅危惧種である貴重な植物が地区内で確認された場合、工事に影響ない位置に移植する。	
2.法面緑化	生物の往来を考慮し、地区内の法面には極力構造物を設けず緑化する。	

## 第9章 換地計画の概要

### 第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

この事業は、農用地の集団化と農業生産基盤の整備向上を目的とし、土地の区画形質の変更を必要とするため、これらに伴う換地計画を樹立する。

### 第2節 換地区の設定

#### 1. 換地区の名称、所在、地積

(第25表-1)

換地区名	換地区の所在	地積(ha)	備考
設定なし	渋川市 赤城町 長井小川田 地内	31.0	

#### 2. 換地区を設定しない理由

当地区は、受益地域が1団地を形成しているため換地区の設定はしない。

### 第3節 換地計画樹立の基本方針

#### 1. 従前の土地の地積の基準

(第25表-2)

換地区名	地積の基準	備考
設定なし	換地交付の基準とする従前の土地の地積は、この土地改良事業の計画の概要を公告した日の土地登記簿地積とする。ただし、公告の日から1ヶ月以内に測量士等が測量した実測図及び隣接する土地の所有者の同意書を添付して申し出た場合はその地積とする。点在非農用地については、群馬県の委託を受ける予定の渋川市及び昭和村が行う実測地積とする。	

2. 用途別予定地積

(単位：ha)

(第25表-3)

換地区名	用途 前後	農用地					道路水路等										非農用地										合計			
		一般農用地				創設農用地 計	機能交換に係る土地				通常事業施行地に含める土地			創設土地改良施設用地			農用地利用計画地	特定用途地			一般国有地	異種目換地	創設非農用地							
		田	畑	草地	小計		国	県	市町村 他	小計	土地改良施設	がけ・やぶ等	小計	土地改良区	その他	小計		宅地	その他	小計			農業経営合理化施設 (1)	生活経営上必要な施設 (2)	公用公共施設用地 (3)	宅地等		小計		
																													計	計
設定なし	従前の土地	-	26.9	-	26.9	/	26.9	-	-	3.4	3.4	-	-	-	/	/	/	3.4	-	-	0.7	0.7	-	/	/	/	/	/	0.7	31.0
	換地	-	23.6	-	23.6	-	23.6	-	-	6.7	6.7	-	-	-	-	-	6.7	/	-	0.7	0.7	-	-	-	-	-	-	0.7	31.0	
	従前の土地					/									/	/	/							/	/	/	/	/		
	換地																													
	従前の土地					/									/	/	/							/	/	/	/	/		
	換地																													
合計	従前の土地	-	26.9	-	26.9	/	26.9	-	-	3.4	3.4	-	-	-	/	/	/	3.4	-	-	0.7	0.7	-	/	/	/	/	/	0.7	31.0
	換地	-	23.6	-	23.6	-	23.6	-	-	6.7	6.7	-	-	-	0.0	0.0	0.0	6.7	/	-	0.7	0.7	-	-	-	-	-	-	0.7	31.0

3. 農用地集団化の方針

(第25表-4)

換地区名	区分	地帯別、グループ別 団地の設定	個人別換地の方法		
			位置の選択方法	1戸当たり 目標団地数	区画畦畔の取り扱い
設定なし		集 落 別 集 団 化	各集落毎に、その耕地の集団化を図るものとし、各集落の団地の位置は従前に比べ各集落の耕作地の土地に著しい差が生じないように定める。 (土地の流動化に配慮する)	概ね2団地	移動区画 配分区画の設定に 当たり、短辺が 10m以上となるよう 定める。

4. 非農用地換地の方法

(第25表-5)

換地区名	用 途	非農用地区域の位置の概要	地 積 (ha)	換地の手法	換地取得予定者	最終取得予定者
設定なし	点在非農用地	概ね従前の位置	0.7	特定用途用地換地	従前の土地の所有者	従前の土地の所有者

5. 創設土地改良施設用地換地の方法

該当なし

#### 第4節 土地の評価及び清算の方法

##### 1. 評価の方法

標準地比準方式による。

##### 2. 清算の方法

増価額比例地積清算方式とする。

ただし、非農用地区域に換地する土地については、従前の土地の地積と換地の地積の差積についてのみ清算する。

#### 第5節 換地計画樹立の年度計画

(第25表-6)

換地区名	区分	一時利用地の指定予定年度	換地計画決定の予定年度	換地処分予定年度	備考
設定なし		令和元年度	令和9年度	令和9年度	

#### 第6節 換地処分の時期に関する特例

当地区は、区画変更工事が完了し、確定測量が行われたときは、法第89条の2第10項で準用する同法第54条第2項本文の規定にかかわらず工事完了公告前に換地処分を行うことができるものとする。

第10章 事業費の総額及び内訳

(単位：千円) (第26表)

事業名	農業用用水	区画整理		計	備考
工事費	348,000	945,600		1,293,600	
主要工事	348,000	945,600		1,293,600	
付帯工事	-	-		-	
用地買収補償費	-	19,400		19,400	
測量試験費	-	53,000		53,000	
換地費	-	34,000		34,000	
文化財調査費	-	-		-	
事務費	17,400	52,600		70,000	
計	365,400	1,104,600		1,470,000	

参考

関連事業費

国営赤城西麓農業水利事業 305.0百万円

第11章 効用

(第27表-1)

区 分	年総効果(便益)額 (千円)	年増加見込所得額 (千円)	備 考
作物生産効果	62,433	104,790	
営農経費節減効果	24,514	27,064	
維持管理節減効果	331	331	
耕作放棄防止効果	550	-	
農業労働環境改善効果	3,860	-	
地籍確定効果	501	-	
国産農産物安定供給効果	13,567	-	
計	105,094	131,523	

(参考)

総費用(現在価値化)  
 総便益額(現在価値化)  
 総費用総便益比

1,979,223 千円  
 2,328,266 千円  
 1.17

## 第12章 関連する事業

事業名	事業主体	受益面積 ( ha)	総事業費		事業内容	備考
国営赤城西麓 農業水利事業	国	2,400	28,031,707	千円	畑地かんがいに係る 基幹水利施設の整備	畑地かんがい 上位事業

## 第13章 現況・計画図面

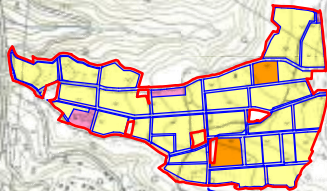
- 1 . 現況平面図 ..... 別添
- 2 . 計画平面図及び土地利用計画図 ..... 別添
- 3 . 主要構造図 ..... 別添

# 赤城西麓笠張土地改良事業 現況平面図

所在 渋川市赤城町



縮尺 1/25,000



凡 例	
記号	事項
	区画整理区域
	受益地
	その他

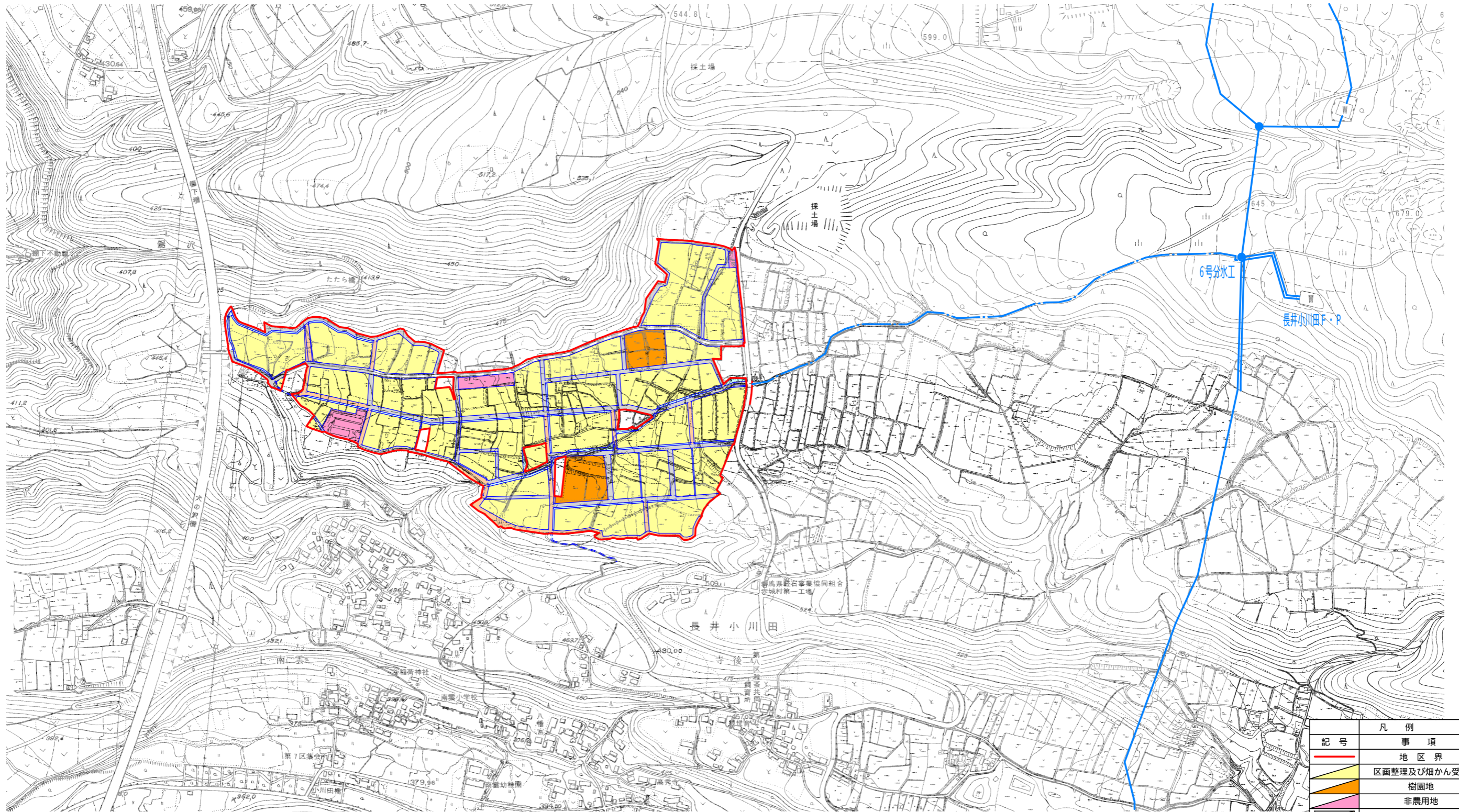
# 赤城西麓笠張土地改良事業

計画平面図及び土地利用計画図

所在 渋川市赤城町



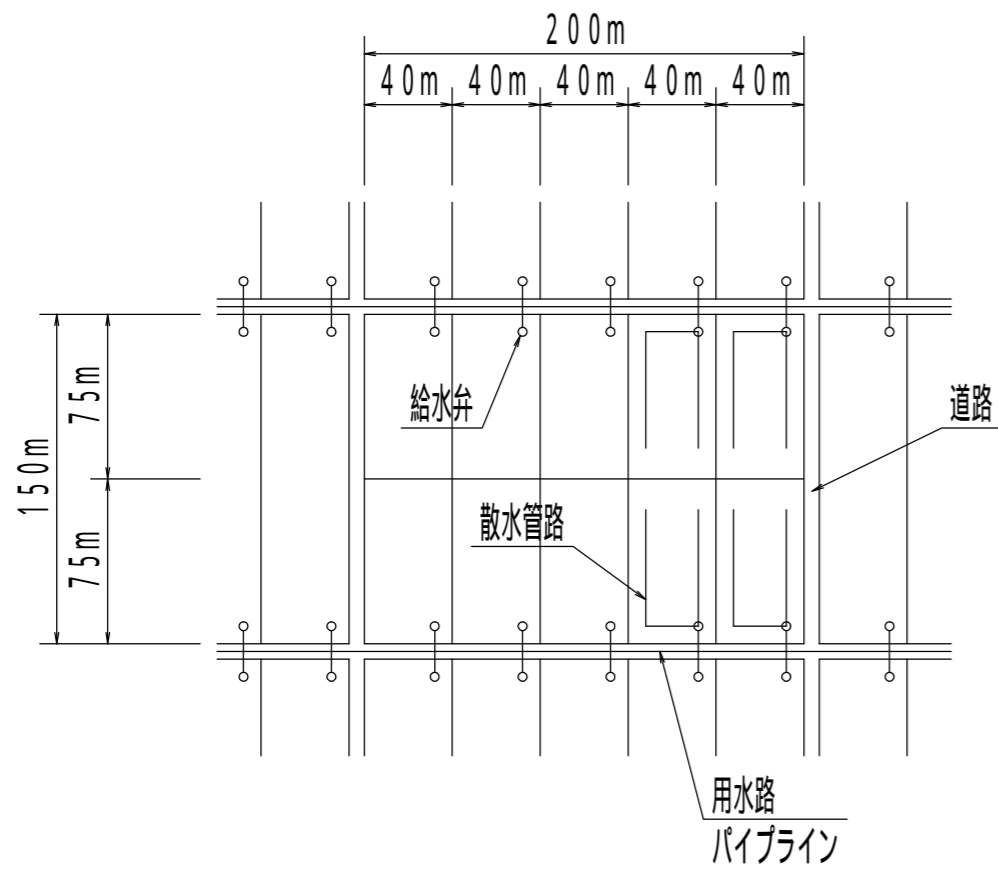
縮尺 1:8,000



記号	凡例
	地区界
	区画整理及び畑かん受益
	樹園地
	非農用地
	計画道路
	既設利用道路
	計画排水路
	国営管路
	計画導水路

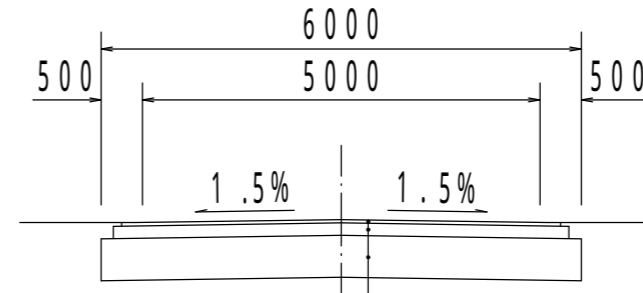
# 主要構造図

## 標準区画割図



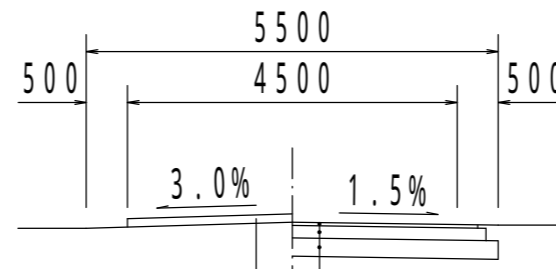
## 支線道路工

### 支線道路A



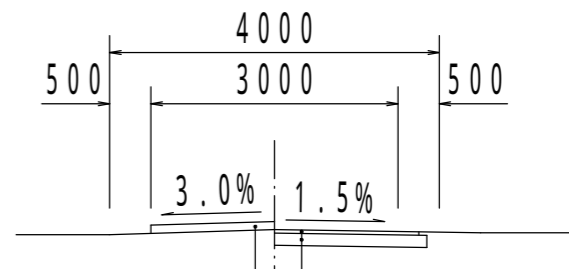
表層工(密粒ギャップAs)	t = 4 cm
上層路盤工(粒調30-0)	t = 15 cm
置換工(山砕)	t = 42 cm

### 支線道路B



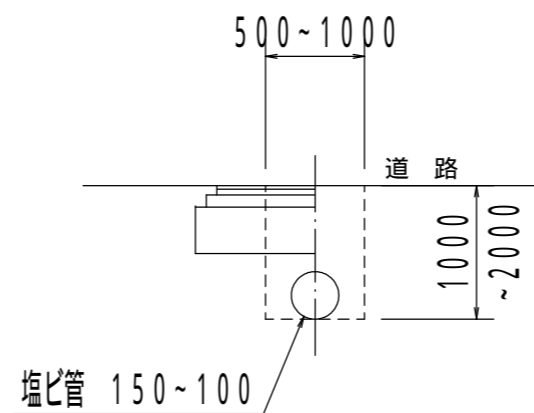
敷砂利 t = 10 cm	表層工(密粒ギャップAs) t = 4 cm
	上層路盤工(粒調30-0) t = 5 cm
	下層路盤工(RC-40) t = 17 cm

### 支線道路C



敷砂利 t = 10 cm	表層工(密粒ギャップAs) t = 3 cm
	上層路盤工(粒調30-0) t = 15 cm

## 用水路工



## 支線排水路

